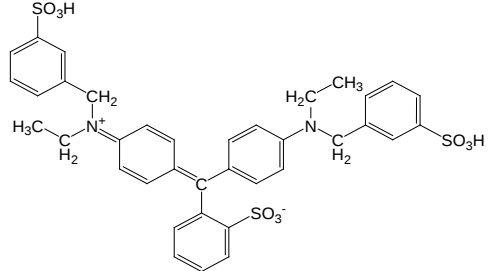
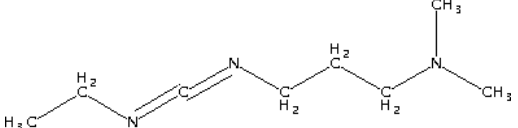
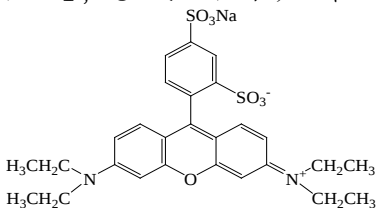


K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 (0内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1831	3, 6-ジオキサオクタン-1, 8-ジイル=ビス (2-エチルヘキサノアート) (94-28-0) 7-88 <chem>CCCCC(CC)C(=O)OCCCCOCCCCOCCCC(=O)C(CC)CCCC</chem>	BOD : 92, 92, 91 (92) HPLC: 99, 100, 100 (100)	—	—	良分解性	なし	1
1822	2- ({ 4- [N-エチル-N- (3-スルホベンジル) アミノ] フェニル } { 4- [N-エチル-N- (3-スルホベンジル) アザニウミリデン] シクロヘキサ-2, 5-ジエン-1-イリデン } メチル) ベンゼンスルホナート 5-1632 	BOD : 5, 1, 1 (2) TOC : -1, 1, 1 (0) HPLC: -1, 0, -1 (0)* ¹ Na塩 (3844-45-9) にて試験実施	-0.32* ²	—	難分解性	濃縮度試験	4
1829	N- [(エチルイミノ) メチリデン] -N', N'-ジメチルプロパン-1, 3-ジイルジアミン (1892-57-5) 2-1696 	BOD : -3, -4, -5 (0)* ¹ TOC : 4, 5, 3 (4) HPLC: 0, 0, 1 (0) 塩酸塩 (25952-53-8) にて試験実施	0.21* ²	—	難分解性	濃縮度試験	8
1830	ナトリウム=4- [6- (N, N-ジエチルアミノ) -3- (N, N-ジエチルアザニウミリデン) -3H-キサンテン-9-イル] ベンゼン-1, 3-ジスルホナート (3520-42-1) 5-1504 	BOD : 8, 5, 5 (6) TOC : 0, 1, 0 (0) HPLC: -3, -2, -2 (0)* ¹	-6.15* ²	—	難分解性	濃縮度試験	11

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値。

整理番号 K-1831 (7-88)		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験															
3, 6-ジオキサオクタン-1, 8-ジイル=ビス (2-エチルヘキサノアート) (94-28-0)		事業対象年度 平成19年度		契 約 年 月 日		契 約 年 月 日															
		試験期間 20. 1. 16~20. 2. 29		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .															
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 <chem>CCCCC(CC)C(=O)OCCOCCOCCOCC(=O)C(CC)CCCC</chem> 分子式 C ₂₂ H ₄₂ O ₆ 分子量 402.57		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮															
		試 験 濃 度		試 験 濃 度		試 験 濃 度															
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L															
		汚 泥 30 mg/L		汚 泥 mg/L		汚 泥 mg/L															
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間															
純 度*1 99.5% 不純物 (物質名, 含有率) 2-エチルヘキサン酸 0.0022% 残り 0.9978%は不明		試験結果	間接	BOD 92, 92, 91 (92) %		試験結果	間接														
				直接	HPLC 99, 100, 100 (100) %			直接													
外 観 無色透明液体		溶解度 (対水, その他)		対水 1.74 mg/L (20℃) 対酢酸エチル 10 g/L 以上 対アセトニトリル 10 g/L 以上		溶解度 (対水, その他)		対水 1.74 mg/L (20℃) 対酢酸エチル 10 g/L 以上 対アセトニトリル 10 g/L 以上													
融 点 融点は測定範囲 (-100 ~25℃) に存在しない		1-オクタノール/水分分配係数 log Pow = 6.4 (HPLC 法) *2		審査部会 第 81 回 20年12月19日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催													
沸 点 342.8℃				判 定		判 定		判 定													
蒸気圧 3.59×10 ⁻⁶ Pa (25℃)		加水分解性 pH4, 7, 9 加水分解性なし		備 考 1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 99.4% (汚泥 + 被験物質) 系 96.9% ・ 生成が予想された 2-エチルヘキサノ酸及びトリエチレングリコールは検出されなかった。 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・ DOC 検出率 (%) <table><tr><td>(水 + 被験物質) 系</td><td colspan="3">(汚泥 + 被験物質) 系</td></tr><tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>0</td><td>7</td><td>5</td><td>4</td></tr></table>				(水 + 被験物質) 系	(汚泥 + 被験物質) 系				1	2	3	0	7	5	4	備 考	
(水 + 被験物質) 系	(汚泥 + 被験物質) 系																				
	1	2	3																		
0	7	5	4																		
密 度		解離定数																			
LD50																					
IRチャートの有無 (有) ・ 無																					
用 途*3 中間物、添加剤 (繊維用、樹脂用) 洗剤用等																					
生産量*3 (16年) 製造及び輸入:7-88として 10,000~100,000 t 未満																					
試 料 購入先 Sigma-Aldrich																					
経済産業公報発表年月日 年 月 日																					

*1 Sigma-Aldrich添付資料による。 *2 溶離液:メタノール/精製水(75/25 v/v) *3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

Study No. 205156	(Test item K-1831)
Cultivating conditions:	
Concentration	
Test item	100 (mg/L)
Reference item (aniline)	100 (mg/L)
Activated sludge	30 (mg/L)
Temperature	25 ± 1 °C
Duration	28 days (Jan.17,2008 - Feb.14,2008)
Note: -	

Vessel No.	Sample Description	BOD (mg)			
		7th day	14th day	21st day	28th day
[1]	Water + test item	0.0	0.0	0.4	0.7
[2]	Sludge + test item	31.7	51.5	68.1	72.6
[3]	Sludge + test item	31.0	50.9	68.9	72.3
[4]	Sludge + test item	28.8	52.3	67.9	71.7
[5]	Sludge + aniline	60.8	73.0	74.8	76.0
[6]	Control blank [B]	3.8	5.6	6.6	7.8

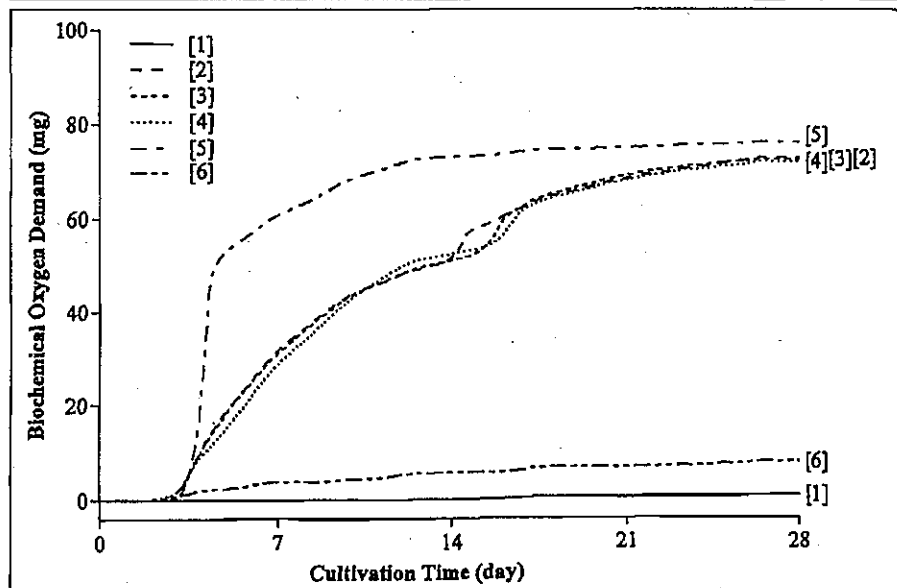


Fig. 1 Chart of BOD.

Feb.14,2008 Name _____

試験液の分析結果

28 日後の分析結果は下記のとおりであった。

		(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系				理論量
		[1]	[2]	[3]	[4]		
BOD ^{*1}	mg	0.7	64.8	64.5	63.9	70.2	
DOC 検出量 及び検出率	mgC	0	1.4	1.1	0.8	19.7	
	%	0	7	5	4	-	
被験物質残留 量及び残留率 (HPLC)	mg	31.6	0.2	0.1	0.1	30.0	
	%	105	1	0	0	-	
2-エチルヘキ サン酸生成量 及び生成率 (HPLC)	mg	0	0	0	0	21.5	
	%	0	0	0	0	-	
トリエチレン グリコール生 成量及び生成 率(GC)	mg	0	0	0	0	11.2	
	%	0	0	0	0	-	

*1 (汚泥+被験物質)系は、汚泥ブランク系の値を差し引いて表示した。

分解度

28 日後の分解度は下記のとおりであった。

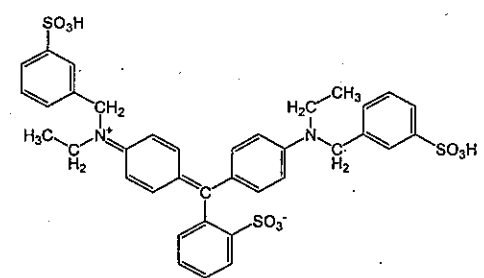
		(汚泥+被験物質)系			
		[2]	[3]	[4]	平均
BOD 分解度	%	92	92	91	92
被験物質分解度 (HPLC)	%	99	100	100	100

結 論

本試験条件下において、被験物質は微生物により分解された。

K-1831の類似物質表

化 合 物 名 (CAS 番号)	構 造 式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分 解 度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃 縮 倍 率	濃縮 判定 (年)
3, 6-ジオキサオク タン-1, 8-ジイ ル=ビス(2-エチル ヘキサノート) (94-28-0)	$ \begin{array}{c} \text{O} \quad \text{CH}_2\text{CH}_3 \\ \parallel \quad \\ \text{O}-\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}-\text{CH}(\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_2 \\ \\ \text{CH}_2 \\ \\ \text{O}-\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{O}-\text{C}-\text{CH}(\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \\ \parallel \quad \\ \text{O} \quad \text{CH}_2\text{CH}_3 \end{array} $	7-88 (K-1831)	標準(4 W) 2008年実施 BOD 92, 92, 91 (92) HPLC 99, 100, 100 (100)					
トリエチレングリコール (112-27-6)	$ \begin{array}{c} \text{O}-\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{OH} \\ \\ \text{CH}_2 \\ \\ \text{CH}_2 \\ \\ \text{O}-\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{OH} \end{array} $	2-0429 (K-915)	標準(4 W) 1989年実施 BOD 92, 25, 64 (60) TOC 97, 53, 66 (72) G C 98, 39, 66 (68)	良分解性 (1989)				
2-エチルヘキサン 酸鉛塩 (301-08-6)	$ \begin{array}{c} \text{O} \quad \text{CH}_2\text{CH}_3 \\ \parallel \quad \\ \text{O}-\text{C}-\text{CH}(\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{Pb} \quad \text{O}-\text{C}-\text{CH}(\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \\ \parallel \quad \\ \text{O} \quad \text{CH}_2\text{CH}_3 \end{array} $	2-0615 (K-1807)	標準(4 W) 2007年実施 BOD 102, 101, 94 (99) [水中で速やかに変化し、2-エチル ヘキサン酸及び不溶性鉛(水にも 有機溶媒にも溶解しない無機 鉛)が生成した。2-エチルヘキサ ン酸は微生物により分解され、不 溶性鉛は試験液中に残留した。]	難分解性 (2007)				

整理番号 K-1822 (5-1632)		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験	
2- ({ 4 - [N - エチル - N - (3 - スルホベンジル) アミノ] フェニル } { 4 - [N - エチル - N - (3 - スルホベンジル) アザニウミリデン] シクロヘキサ - 2 , 5 - ジエン - 1 - イリデン } メチル) ベンゼンスルホナート		事業対象年度 平成19年度		契 約 年 月 日		契 約 年 月 日	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状		試験期間 19. 9. 11 ~ 19. 12. 10		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
 分子式 C ₃₇ H ₃₆ N ₂ O ₉ S ₃ 分子量 748.16		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
		試 験 濃 度		試 験 濃 度		試 験 濃 度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚 泥 30 mg/L		汚 泥 mg/L		汚 泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純 度 * 1 96.5% (異性体混合物)	外 観 赤紫色粉末	試験結果	間 接	BOD 5, 1, 1 (2) %	試験結果	間 接	
			直 接	TOC -1, 1, 1 (0) %		直 接	
				HPLC -1, 0, -1 (0) %			
不純物 * 1 (物質名, 含有率) 複数の不明成分 3.5%		溶解度 (対水, その他) 対水 300 g/L 以上 (20℃) 対メタノール 10 g/L 以上		審査部会 第 81 回 20年12月19日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
融 点 測定不可 (270℃以上で変化する)		1-オクタノール / 水分配係数 0.32*3		判 定		判 定	
沸 点 測定不可 (270℃以上で変化する)		加水分解性 pH4, 7, 9 加水分解性なし		備 考		備 考	
蒸気圧 3.66 × 10 ⁻⁶ Pa 以下 (測定温度 80℃)		1. 回収率※ (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。		備 考		備 考	
密 度		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		備 考		備 考	
LD50		3. 特記事項 ・試験サンプルは Na 塩を用い、物性値は Na 塩の値である。 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。		備 考		備 考	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		用途 * 2 接着剤、殺虫剤・殺菌剤等、色素 (塗料、顔料)		備 考		備 考	
生産量 * 2 (16 年) 製造及び輸入 : 5-1632 として 10,000 ~ 100,000 t 未満		試験 購入先 和光純薬工業 和光一級		備 考		備 考	
試 料		購入先 和光純薬工業 和光一級		備 考		備 考	
経済産業公報発表年月日 年 月 日				備 考		備 考	

*1 HPLC (面積比) による。 *2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。 *3 Kowwin vl.67, SRC-LOGKOW for Microsoft Windows による計算値。

Study No. 205147	(Test item K-1822)
Cultivating conditions:	
Concentration	
Test item	100 (mg/L)
Reference item (aniline)	100 (mg/L)
Activated sludge	30 (mg/L)
Temperature	25 ± 1 °C
Duration	28 days (Sep.13,2007 - Oct.11,2007)
Note: —	

Vessel No.	Sample Description	BOD (mg)			
		7th day	14th day	21st day	28th day
[1]	Water + test item	0.5	0.5	0.5	0.5
[2]	Sludge + test item	4.8	6.6	7.5	8.8
[3]	Sludge + test item	3.5	5.1	5.8	7.0
[4]	Sludge + test item	3.8	5.0	5.6	7.0
[5]	Control blank [B]	3.0	4.2	5.1	6.2
[6]	Sludge + aniline	53.7	69.6	72.3	74.5

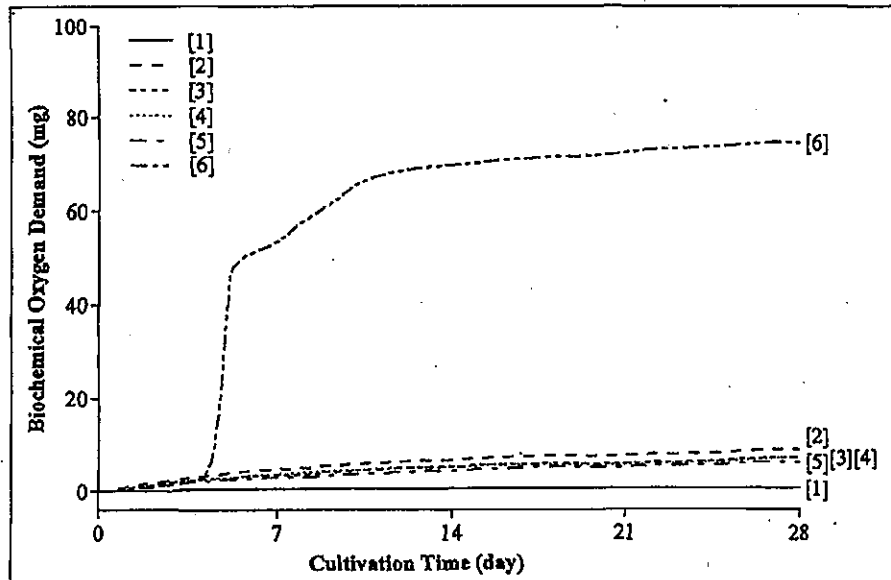


Fig. 1 Chart of BOD.

Oct.11,2007 Name _____

試験液の分析結果

28 日後の分析結果は下記のとおりであった。

なお、(水+被験物質)系、(汚泥+被験物質)系共に被験物質はほぼ理論量残留し、HPLC クロマトグラム上に被験物質以外のピークは認められなかった。

		(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系				理論量
		[1]	[2]	[3]	[4]		
BOD* ¹	mg	0.5	2.6	0.8	0.8	56.4	
DOC 残留量 及び残留率	mgC	16.3	16.5	16.2	16.1	16.8	
	%	97	98	97	96	-	
被験物質 ^{*2} 残留 量及び残留率 (HPLC)	mg	30.2	30.5	30.2	30.4	30.0	
	%	101	102	101	101	-	

*1 (汚泥+被験物質)系は、汚泥ブランク系の値を差し引いて表示した。

*2 クロマトグラム上のピークの総面積を用いて算出した。

分解度

28 日後の分解度は下記のとおりであった。

		(汚泥+被験物質)系			
		[2]	[3]	[4]	平均
BOD 分解度	%	5	1	1	2
DOC 分解度	%	-1	1	1	0
被験物質分解度 (HPLC)	%	-1	0	-1	0(-1)*3

*3 分解度の平均値が負の値に算出されたため、平均値を 0 としカッコ内にその計算値を示した。

考 察

HPLC 分析において、被験物質はクロマトグラム上に 3 本のピークとして検出された。そこで、ピーク毎の分解度を算出したところ、いずれのピークについても分解度は-1~0%であった（下表参照）。よって、本試験条件下において、被験物質の全成分が微生物により分解されなかったと考えられる。

被験物質のピーク毎の分解度

		(汚泥+被験物質) 系			
		[2]	[3]	[4]	平 均
ピーク 1	%	-1	0	0	0(-1)*3
ピーク 2	%	-1	0	-1	0(-1)*3
ピーク 3	%	-1	0	-1	0(-1)*3

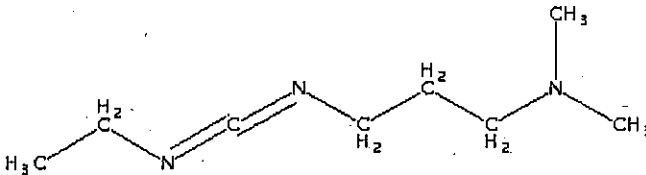
結 論

本試験条件下において、被験物質は微生物により分解されなかった。

K-1822の類似物質表

化 合 物 名 (CAS 番号)	構 造 式	官報公示 整理番号 (K- 番号)	分 解 度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃 縮 倍 率	濃縮 判定 (年)
2-((4-[N-エチル-N-(3-スルホベンジル)アミノ]フェニル){4-[N-エチル-N-(3-スルホベンジル)アザニウムリデン]シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン}メチル)ベンゼンスルホナート		5-1632 (K-1822)	標準(4 W) 2007年実施 BOD 5, 1, 1 (2) TOC -1, 1, 1 (0) HPLC -1, 0, -1 (0)* (試験はNa塩で実施)					
ナトリウム=3-(N-(4-((4-(ジメチルアミノ)フェニル){4-(エチル((3-スルホナトフェニル)メチル)アミノ)フェニル)メチレン)-2,5-シクロヘキサジエン-1-イリデン)-N-エチルアンモニオメチル)ベンゼンスルホナート (1694-09-3)		5-1611 (K-1571)	標準(4 W) 2001年実施 BOD 1, 1, 1 (1) TOC 6, 3, 3 (4) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2002)		>50 (96 hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.50 mg/L) : 0.9 2区(0.050 mg/L) : <8.4 脂質含有率 開始前 3.0% 終了後 3.2%	高濃縮性 ではない (2002)

* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1829 (2-1696)		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験		分 解 度 試 験	
N-〔(エチルイミノ)メチリデン〕-N', N'-ジメチルプロパン-1, 3-ジイルジアミン (1892-57-5)		事業対象年度 平成19年度		契 約 年 月 日		契 約 年 月 日	
構造式(示性式)・物理化学的性状		試験期間 19.10.1~20.2.1		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
 分子式 C₈H₁₇N₃ 分子量 155.24		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
		試 験 濃 度		試 験 濃 度		試 験 濃 度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚 泥 30 mg/L		汚 泥 mg/L		汚 泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純 度*1 99.7%		試験結果	間 接	BOD -3, -4, -5 (0) %	試験結果	間 接	
外 観 白色粉末							
不純物*1 (物質名, 含有率)			直 接	TOC 4, 5, 3 (4) %		直 接	
水分 0.08%				HPLC 0, 0, 1 (0) %			
残り 0.22%は不明		審査部会 第 8 1 回		審査部会 第 回		審査部会 第 回	
融 点*1 111.7~112.8℃		20年12月19日開催		年 月 日開催		年 月 日開催	
沸 点 測定不可 (160℃以上で分解)		判 定		判 定		判 定	
蒸気圧 5.06×10 ² Pa (25℃)		備 考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・試験サンプルは塩酸塩を用い、 物性値は塩酸塩の値である。 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		備 考		備 考	
密 度							
LD50							
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用 途*2 中間物、脱水剤、乾燥剤							
生産量(16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t 未満							
試 料 購入先 東京化成工業							
経済産業公報発表年月日 年 月 日							

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。 *3 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windows による計算値。

Study No. 205154	(Test item K-1829)
Cultivating conditions:	
Concentration	
Test item	100 (mg/L)
Reference item (aniline)	100 (mg/L)
Activated sludge	30 (mg/L)
Temperature	25 ± 1 °C
Duration	28 days (Oct.30,2007 - Nov.27,2007)
Note: —	

Vessel No.	Sample Description	BOD (mg)			
		7th day	14th day	21st day	28th day
[1]	Water + test item	0.0	0.0	0.0	1.1
[2]	Sludge + test item	1.3	2.1	2.8	5.0
[3]	Sludge + test item	1.0	1.9	2.7	4.8
[4]	Sludge + test item	1.3	2.2	2.9	4.2
[5]	Control blank [B]	2.2	4.2	7.1	7.7
[6]	Sludge + aniline	61.4	70.9	72.5	74.7

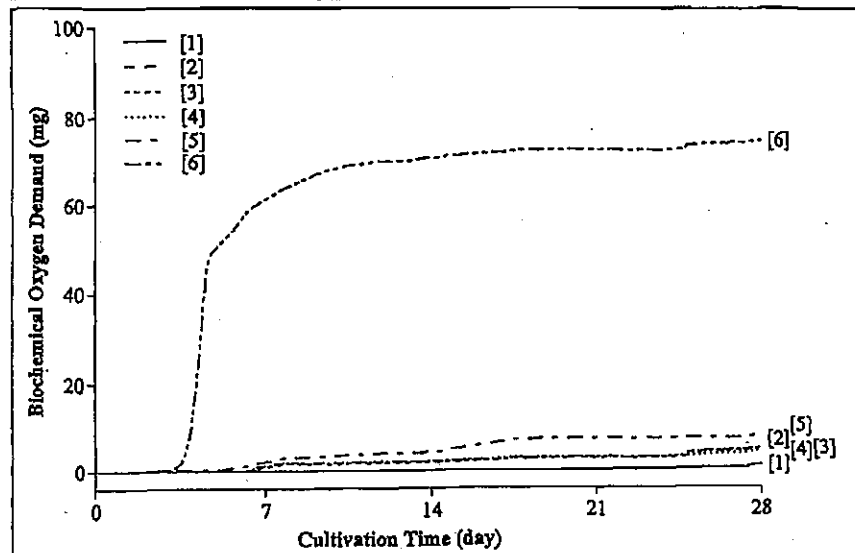


Fig. 1 Chart of BOD.

Nov.27,2007 Name _____

試験液の分析結果

28 日後の分析結果は下記のとおりであった。

なお、(水+被験物質)系、(汚泥+被験物質)系共に被験物質はほぼ理論量残留し、HPLC クロマトグラム上に被験物質以外のピークは認められなかった。

		(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系				理論量
		[1]	[2]	[3]	[4]		
BOD* ¹	mg	1.1	-2.7	-2.9	-3.5	77.7	
DOC 残留量 及び残留率 ⁺¹	mgC	15.7	15.1	15.0	15.2	15.0	
	%	105	101	100	101	-	
被験物質残留 量及び残留率 (HPLC)	mg	30.0	29.9	29.9	29.7	30.0	
	%	100	100	100	99	-	

*1 (汚泥+被験物質)系は、汚泥ブランク系の値を差し引いて表示した。

分解度

28 日後の分解度は下記のとおりであった。

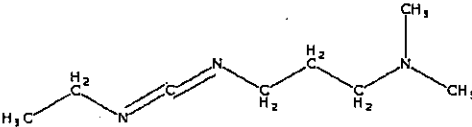
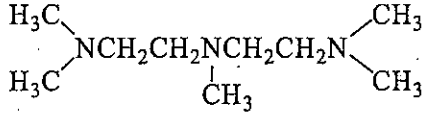
		(汚泥+被験物質)系			
		[2]	[3]	[4]	平均
BOD 分解度	%	-3	-4	-5	0 (-4) ^{*2}
DOC 分解度	%	4	5	3	4
被験物質分解度 (HPLC)	%	0	0	1	0

*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、平均値を 0 としカッコ内にその計算値を示した。

結 論

本試験条件下において、被験物質は微生物により分解されなかった。

K-1829の類似物質表

化 合 物 名 (CAS 番号)	構 造 式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分 解 度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃 縮 倍 率	濃縮 判定 (年)
N-[(エチルイミノ) メチ リデン] -N, N-ジメ チルプロパン-1, 3-ジイ ルジアミン (1892-57-5)		2-1696 (K-1829)	標準 (4 W) 2008年実施 BOD -3, -4, -5 (0) *1 TOC 4, 5, 3 (4) HPLC 0, 0, 1 (0) (塩酸塩にて試験実施)		—			
N-メチル-N, N- ビス(2-ジメチルア ミノエチル) アミン (3030-47-5)		2-0147 (K-1379)	標準 (4 W) 2000年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 1 (0) G C 0, 1, 1 (1)	難分解性 (2000)	2005 年実施 0.04 (フラスコ 振とう法)		分配係数から類推	高濃縮性 ではない (2005)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。